

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

このたびの広報を開いたら、エゴアちゃんの環境貯金箱大作戦が目に入って読みました。ゴミ出しはふだんから気をつけて出していますが、これからも貯金が増えますように、なおいつそう頑張るつもりです(鎌田チヨ 85歳・茨島)

子育て総合センターが開催している「パンダ広場」に、

たくさん親子が参加している写真を見て、自分の子ども一度参加させてみたいと思いました。それから、ごみ減量にわが家もさっそく協力します。環境貯金箱にお金が毎月増えますように!(ペンネーム ヒロポン 30歳・広面)

春は引越シーズンではないか、ごみ収集日でない日に大量のごみが出されていたのを目にした。「立つ鳥、跡をにごさず」。ルールを守ってほしいものだ(伊藤良子 56歳・外旭川)

家の近所の草むらに、車中から投げたと思われる空き缶が捨てられています。時々、

母が拾い集めていますが、ごみの日には、袋いっぱいになります。悲しいですね(猪島あけみ 41歳・新屋)

地産地消について、形が悪くても味が変わらない、規格外の食材を、新鮮かつ安価で手に入れたら大変ありがたいです(佐藤チエ 84歳・茨島)

小川の水もぬるみ、ぼかぼか陽気にさわられて、近くにある弥生つこ村地蔵田遺跡を見学しました。その途中、雑木林のふもとにつくしが顔を出し、小鳥がさえずる光景に出会い、思わず立ちどまり、耳をすませ、そのすがすがしさに春を実感しました(臼木嬉子 66歳・御所野)

ようやく春らしく暖かくなり、外出にはなるべく歩くようにしています。最近目についたことは、電柱に表示してある町内の番地板が新しく補充されていたこと。町内もわかりやすく、町が明朗になった気持ちで歩いています(松村隆 72歳・千秋)

地域の話 おしえて!!

結成30周年を迎えた將軍野堰越町内会 サークルと盆踊りで町内円満!

この春、結成30周年を迎えた將軍野堰越町内会。町内会長の佐々木敏信さんに結成当時のお話をうかがったところ、「当時から町内会の結束は固く、地区対抗のスポーツ大会では大活躍、子ども会活動も盛んだった」とのこと。

現在も、町内のサークル活動が活発で、特にカラオケ同好会は、年に数回、施設に慰問に行っています。「施設の人々も大喜び。慰問の評判が良くして市内のいろんなところから

がかけられます」と佐々木さん。同好会メンバーのステージ衣装も自前で、慰問前にはレッスンにも熱が入るとか。

また、夏の仮装盆踊り大会も、町内会結成以来続けられ、ほかの町内の人々が駆けつけるほど盛大なイベントになりました。

町内円満の秘けつは、「サークルやイベントに、みんなが楽しく参加できる明るいまちづくり」。仲良く30周年、おめでとうございます。

記念式典で、子ども会から佐々木会長へ感謝の花束



仮装盆踊り大会。衣裳は当日まで秘密だとか



おしゃべりかわらばん



さけ稚魚の放流に参加した佐藤龍太くん(八橋小3年)

旭川に戻ってきてね!

さけの稚魚を「大きくなあれ」と気持ちをこめて、やさしく旭川に放流しました。さけが、僕のバケツの中から元気に泳いでいくのを見て、とっても楽しかったよ。4年たったら、きっと戻ってきてね。

“言霊”を伝えたい

さまざまなボランティア活動を通じ、人間的なふれあいの大事さを改めて痛感しています。本の読み聞かせを通して、子どもたちとじっくり向き合い、ゆっくりとした温かい時間を提供できれば、と思っています。



子ども未来センターボランティア研修会に参加した小川慶子さん(土崎)



秋田寿大学新入会員の石井邦彦さん(旭川)

外に向かって!

「若さを失いたくない」という思いが一番です。知識を求めて、外に向かって、どんどん、何でも勉強してみたい。まずは「同級生」に名前を覚えてもらうことから始めたいと思っています。

児童館ができて良かった!

児童館は、学校が終わってから週に何回も遊びに来ているよ。けん玉遊びとか、体育館で運動するのが好き。一番楽しいのは、ドッジボール。学年が違う友だちとも遊べるので児童館ができて良かった!



4月1日に開館した金足西児童館に遊びに来た青木遼くん(金足西小3年)



西部工業団地のクリーンアップに参加した櫛田剛文さん

職場の周りをスッキリ

団地内の企業が協力して年に2回クリーンアップをしています。数年前までは山のように集まったごみも、年々量が少なくなって、ポイ捨てなども減ってきました。力を合わせ、クリーンアップで団地全体のイメージアップ!



新屋の北新町町内会のみなさん

(財)自治総合センターから、北新町(新屋)町内会自主防災隊と秋田市に合わせて130万円(宝くじの収益)の助成がありました。消火器や拡声器などが配備され、地域の防災能力向上に役立っています。

三十年ぶりに友人五人で会いました。青春時代にタイムスリップし、昔話に花が咲き、みんな変わってなくて良かった!と思いましたが、そのとき写した写真...やっぱり変わっていた(勝見礼子 53歳・旭南)

最近、七か月の娘がハイハイをしだした。歯も生えてきた。でも第一発見者は、いつも一緒にいる私ではなく、単身赴任でたまにしかいないパパだった! パパ、いいところ取りだよ。うっ、うらやましい(鈴木知里 26歳・御所野)

四月は「新しい」月。真新しい黄色い帽子をかぶってトコトコ歩く新一年生たち、ピカピカの自転車に乗って向かい風を急ぐ女子高生、買ったばかりのネクタイをちよつとキツめに締めた新入社員。八橋老人いこいの家でも「秋田寿大学」の開講式が元気なお年寄りたちの手で盛大に行われました。

私もこの春から広報課で仕事をすることにになりました。残念ながら新しい帽子も、新しい車も、新しいネクタイもありませんが、新しい気持ちだけはしっかりと持って、市民の皆さんが読みやすく、そしてわかりやすい広報になるよう頑張りたいと思います。(井筒)

係からひとこと

広報クイズ



秋田寿大学

3月26日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「ワピチ」、問2が「1,800万円」でした。

全問正解160通(応募総数177通)の中から、相庭けいさん(牛島西四丁目)、赤津テイさん(泉中央二丁目)、伊藤るみ子さん(茨島四丁目)、佐川信子さん(八橋本町三丁目)、佐藤兼三郎さん(外旭川字家ノ前)、佐藤広治さん(茨島六丁目)、澤田石つやさん(大町一丁目)、須田恵子さん(横森二丁目)、長谷川ふみ子さん(新屋朝日町)、若松長吉さん(檜山大元町)の10人のかたに図書券をお送りします。

4月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)